

事業計画書

事業名	四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業
団体名	小金原みんなでわくわくする会
事業概要	
老人から孫まで、四世代がより健康で安全・豊かな生活ができる居住環境を実現するため、小金原地区における地域活動をSDGs(「持続可能な開発目標」)の視点から再構成し、全世代参画のもとに助け合える魅力あるまちづくりの実現を目指す。	
取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	小金原地区は、高齢化が進んでいる地域であり、高齢者にとって住みやすい街を志向するだけでなく、若い世代を巻き込み、彼らにとっても魅力ある街にしていかなければならない。
事業の目的	四世代が、明るく健康で安全・豊かな生活ができる災害に強い居住環境を実現するため、従来からの地域活動をSDGs活動の一環として整理・進化させ、世代相互の協力体制による「ありがとう！」のまちづくりを目指す。
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>R6 年度まで、SWOT(強み弱み)によるまちの分析を基に4テーマと町会共催の四世代交流会の活動を推進してきた。R7 年度は、更に、再編集約した2テーマと四世代交流会の活動に絞り、住みやすい環境と美化を目指す。</p> <p>【活動テーマと主な活動】</p> <p>1) テーマ1;花き栽培と落葉の堆肥活用化(SDGs 7,11,15)</p> <p>① 花き栽培(第13回SDGs活動会)(5月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまばと公園内しだれ桜花壇及び公園南西コーナー花壇(R6新設)の花き栽培推進⇒市から無償支給の花き栽培 ・同公園南側道路との境界位置に花壇設置(申請計画)し、幼稚園園児による花植えを計画⇒公園を住民の憩いと交流の場とする <p>② コンポスト(第13回SDGs活動会)(5月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の町会当番で集めた落ち葉をコンポストに回収、堆肥化し、花き栽培に活用し、併せて、清掃車回収のコスト削減を目指す ・設置については、基礎固定作業等は、左官業者に指導依頼する <p>③ コンポスト堆肥化状況(現場調査)(第15回SDGs活動会)(9月)</p> <p>2) テーマ2;町民講座の開設(SDGs 3,4,11)(4回/年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内在住の師匠、先生、技能者等優れた特技の持ち主を登録 <p>第1回;花の育て方(6月)</p> <p>第2回;エンディングノート勉強会(継続開催1回/年)(第14回SDGs活動会)(7月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生100年に向かったの整理と準備(高齢者支援に繋げる) <p>第3回;郷土歴史 小金原地区の名称由来、根木内城他(10月)</p> <p>第4回;成年後見制度(出前講座)(25/2)</p> <p>3) 第3回四世代交流会(SDGs 3,5,11)(11月)他町会の招待⇒合同開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生による演奏と全世代が輪になって合唱ダンス <p>4) 第16回SDGs活動会(12月) R7年度まとめ及び事業継続可否検討</p>

2 スケジュール		*対象: 全て小金原地域住民
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
2025/5	・第 13 回 SDGs 活動会 テーマ 1; 花き栽培・落ち葉 ① 花き栽培現状と年度計画コン ポスト落ち葉堆肥化状況 ② テーマ 2; 町民講座年度計画	実施体制(以下体制); 会メンバー、講師 江戸川大学 佐藤秀樹先生 場所; 小金原三丁目町会館
2025/6	・第 3 回四世代交流会準備 ・第 1 回町民講座; 花の育て方	体制; 会メンバー、町会 場 所; 小金原三丁目町会館
2025/7	・第 14 回 SDGs 活動会 第 2 回町民講座; エンディング ノート、テーマ 1, 2 の進捗報告	体制; 会メンバー、講師、町会 場所; やまばと公園
2025/9	・第 15 回 SDGs 活動会 コンポストの堆肥化状況確認 交流会準備(ポスター作成他)	体制; 会メンバー、講師 場所; やまばと公園
2025/10	・第 3 回四世代交流会準備 第 3 回町民講座; 郷土歴史	体制; 会メンバー、町会 場所; 小金原三丁目町会館
2025/11	・第 3 回四世代交流会 小中学生の吹奏楽を含む音楽中 心とした全地域住民のつどい	体制; 会メンバー、町会 場所; 小学校体育館
2025/12	・第 16 回 SDGs 活動会 R7 年度まとめと事業継続可否	体制; 会メンバー、町会、講師 場所; 小金原三丁目町会館
2026/ 1~3	・活動報告とりまとめ ・第 4 回町民講座; 成年後見制度	体制; 会メンバー、町会 場 所; 小金原三丁目町会館
既存の事業からステップアップする部分(ステップアップ助成のみ)	SWOT 抽出の 4 テーマについて、具体的成果が見込まれる 2 テーマに集約・再編成し、活動の集中化を図る。町民講座として、高齢者に有用な内容や若年層に興味のあるテーマを織り交ぜる。 また、四世代交流会は、過去 2 回の経験を踏まえて、広く地域の市民参画と小中学生若年層の演奏、参加を目論んで企画する。	
事業の目標	1. 活動 2 テーマ及び四世代交流会の事前周知; 掲示板・回覧板に掲載する。 2. 第 13~16 回 SDGs 活動会(4 回/年、延べ 60 名参加) 3. 第 1~4 回町民講座(4 回/年、延べ 60 名参加) 4. 第 3 回四世代交流会;(参加者 100 名以上) 小中学生の演奏参加 5. 野外活動(随時 4 回/年、延べ 30 名); やまばと公園花壇の継続及び東側花壇設置とコンポストの維持管理(落ち葉 特大ビニール 20 袋以上回収)	
今後の展望	1. 公園の花き栽培により、明るく集える憩いの場とする。コンポスト堆肥は、花きだけでなく、町民の家庭菜園にも活用し、栽培作業を通じた高齢者の適度な運動確保と、新鮮野菜による家族の健康増進を図る。 2. 町民講座の開催を継続し、街の卓越した才能、技量の方を開拓して、豊かな交流の輪を広げる。⇒将来は、在住する外国人やその子女にも母国の紹介等発表してもらい、相互の理解を深める。 3. 四世代交流会は小中学生の音楽演奏を取り入れ、音楽活動を通じた双方向の地域町会活動とする。	

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 58,959	事業費の一部を団体会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 58,959	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 278,631	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 337,590	

【支出】

科目		予算額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 80,000	SDGs外部講師謝礼 10,000円x4回 左官作業指導及び基礎 20,000円 x 延べ2日	
	消耗品費	¥ 213,590	市民講座・勉強会資料	用紙；1.1円 x 5P x 100セット x 2種=1100円 インク；2650円 x 2
			ブレインストーミング 他	模造紙；110円(4枚) x 4枚 マジック；110円 x 5本x3色
			コンポスト製作 サイズ：3740x1930x600H	
			ブロック	1400円 x 20個=28000円
			鉄筋支柱	2200円 x 20本=44000円
			セメント袋(20kg)	1,800円x 4袋=7200円
			鉄筋 (D19x1000)	850円 x 14=11900円
			安全ポール	5,500円
			チェーン	800円(2m) x 4個=3200円
			シート (ベッド付)	2100円x 4セット=8400円
	シート 2.7x3.6m	1,800円		
帆布シート 2x2m	5,600円			
ガーデン用具	6,000円 x 2セット			
チューリップ、水仙、 他	球根/苗：300円x 50個x 3種類			
プランター	300円x14個x2= 8400			
サポート支柱	880円(10本入)x10セット			
花壇柵用円弧ポール	1200円(4本入)x10セット			
エンディングノート	110円x30=3300円			
印刷製本費	¥ 16,000	・活動説明、活動成果 8円 x 500枚x2回= 8000円 チラシ印刷 20円 x100枚x4回= 8000円		
対象経費の合計 (D)		¥ 309,590		
その他経費	食糧費	¥ 28,000	勉強会・会合・作業の 100円 x 50人x4回 お茶代 100円 x 10人x8回	
	その他経費の合計 (E)	¥ 28,000		
合計額 (F) = (D+E)		¥ 337,590		

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。